大老連俳句会

9月1日、大阪市立いきいきエイジングセンターにて

鵜川　定久選

兼題　当季雑詠

編笠の白きうなじや風の盆　田平　康恵
ほろ苦の秋刀魚の腸も乙な味　森田かおる
盆踊り親父自慢の炭坑節　中西　寿乃
一人来て開く弁当秋桜　松下登美子
澄み し水魚のはしるを覗きみる　加納　幸子
葉に添へぬさために燃ゆる曼珠沙華　吉田　靜代

俳句

鵜川　定久選

ほろほろと朝顔の種こぼれおち　村上　治子
北区済葉長寿会
針運ぶ衣音滑る夜なべかな　山本美穂子
同曽根崎クラブ
鰯雲離れ住む子も達者かな　長岡　節子
都島区北寿会
麦茶炊く香の流る朝の路地　河辺　柳止
同大東菊寿会
おしゃべりをしたくて柘榴実の弾け　中村　幸枝
同中野熟成の会
夕闇に仄めきありし花芙蓉　中村　照子
同ベル悠悠会
踏み入りし径おそろしき芦原　喜多　知慧
同西都島老人クラブ
菊花展以下同文の賞貰う　山田　勝彦
港区三先老人クラブ
敬老日われに役有り果報者　桜井　貞子
天王寺区敬友会
鬼蜻蜓一願仏の手の平に　田中マサ子
同南天会

サーフィン男のロマン秋暑し　天羽智津子
自分史をやっと書き上げ文化の日　日柳れい子
坪庭の風むらさきに花桔梗　傳寳　弘子
生きること如何に大事と秋刀魚焼く　大本　和子
推敲の心に満ちる虫時雨　大畠　宮子
初成りの幸水といふ梨届く　平田　文子
腹の虫少し押へて衣被き　石田寿美子
家系図の誰彼偲ぶ夜長かな　岡本　桂子
みちのくの旅の思い出秋風鈴　中田百合子
遠景の棚田を区切る曼珠沙華　松野　幸子
選者吟　老年の捨てきれぬ夢赤のまま

早や九月年齢ばかり駆け足に　大塚千庸子
秋耕やおまけ人生土撫づる　田中　昭子
秋夕焼け大淀すべて染め尽す　為末　富江
激辛のカレー一匙夏の果　中川　勢子
山門に入る鶏頭の乱れなし　玉井　幸子
秋簾隙間より洩る夕日かな　亀山　義久
澄む水に茅ぶき屋根のさかさ影　福井　初枝
虫の音に身を沈めているしまい風呂　岡島　衛
風の盆四肢柔らかに風を切る　栗田　きぬ
猫じゃらし群れて風恋ふ道の辺に　古野　節子
重陽にテレビも知らず逝し母　柴原　梅子

川柳

吉川　哲矢選

猛暑続き体のネジがゆるみ出す　辻部さと子
住之江区加賀屋福寿会
ほどほどにせぬと強がり行き詰まる　藤木　康司
同浜口長寿会
適度とは割り切れぬ身の難しさ　岡田　元
生野区第2長楽会
薬湯に鬱も鎮めた暑気払い　森塚　妙子
港区寿成会
これでもかこれでどうだと猛暑来る　浅野登喜子
此花区伝法老人クラブ喜寿会
湯のような水でも植木待っている　木原淳三朗
都島区高倉連合
おみやげのフルーツ早い秋を呉れ　堀口　啓子
淀川区新高新老クラブ
洗いざらい喋って不眠症治る　平田　時子
旭区天長会
青空に綿菓子浮かび一幅画　神夏磯典子
平野区加寿美会
長生きに酒一合の薬飲む　廣田　稔
同加美寿会
ダメですと言わずやんわり先送り　門野　隆司
都島区伸寿会
紅させば鏡の私モナリザに　河野　勝一
福島区開寿会
子も孫も歌ってくれるバースディ　佐喜眞光子
同
喜寿にしてパソコン始め新天地　杉原　明
同鷺洲クラブ
非常口たしかめ今日の旅終る　植野　保宏
此花区梅香長寿会
まだ酷暑錦虫鳴くも秋遠い　植野　保宏
同伝法老人クラブ喜寿会
夫婦だな湯飲み二つがお茶を待つ　高橋　節男
中央区桃谷桃寿会
あかね雲夏の思い出つつみこみ　森谷　弘子
同　桐石　澄子
夢にでる妻何故こうもいとしいか　勝部　泰臣
港区A・P・M澪クラブ

新盆に提灯供え姉偲ぶ　桜井美恵子
天王寺区城南クラブ
友の助言飾らぬ言葉滲みてくる　奥田　敏雄
浪速区元友会
人恋しほのかにかおる花の風　金田　正次
同長寿会
来年もこれ着たいなと衣替　天野　久子
東淀川区東井高野第1老人クラブ
今日も又暑い暑いがごあいさつ　宮田セツ子
同豊里つるかめ会
辛かった思い出ばかり終戦日　安部　勝子
同井高野第1老人クラブ平井ノブ子
残すほど無いが余命にあるリスク　宇野　玉枝
同
夏負けで何する気なく涼をまつ　高井　宇一
安ものの金魚が最後生き残り　浜田　舜子
同日之出友愛クラブ
風鈴の音色聞かずの熱帯夜　中田　誠子
同井高野第3老人クラブ岡崎
趣味ひとつ抱いて平和な老の幸　小泉ひさ乃
同相川老松会
今の旬活かして私らしい日々　鈴木トヨ子
生野区親生会
百円札拝んだ昔なつかしい　伊藤　博仁
旭区三友会
大正と見てはもらえぬ歩きぶり　安部　勝子
鶴見区鶴寿会
その内に涼しくなるという暑さ　浜中　春代
住吉区ときわ会
父の日にやさしい孫娘のプレゼント　谷川　安昭
同墨江東四寿会
一人住む自戒をこめて趣味の日々　佐野みゆき
東住吉区菊寿会
明日もどうぞレジの笑顔が客を呼ぶ　高橋　正雄
同田辺西一延寿会
夏バテの防止やっぱり昼寝する　大野　泰宏
平野区平野第二松寿会
一年があっという間にすぎていく　山口とみ子
同恵美寿会
へこむ気が友の元気に支えられ　坂本あや子
西成区天寿クラブ

老母漬けし秋茄子の味口にあり　廣橋　俊雄
城東区森之宮長寿会
公園の深閑として蝉の昼　安達美智子
同野江みのり会
なかなかに句の整はぬ夜長かな　矢田　智子
同関目東第二互楽会
癒えて又一歩踏み出す秋日傘　石岡トキエ
同蒲生三むつ会
水打って今日一日の終りとす　山下　正治
同あすなろ会
一向に合はぬ家計簿茶立虫　矢倉　眞子
同古市一南和老会
うだる昼葵の花の咲きのぼる　町田　富美
鶴見区友和会
小流れに芥貼りつく早かな　髙田　敏雄
同今津第4遊友クラブ
枝豆や広島の土つけしまま　村田　敏子
阿倍野区晴寿会
夜もすがら鉄粋揺らし野分き去る　畑井　儀人
住之江区太陽連合きらく会
往診の自転車遺品女医露と　川上南海子
同新北島つくし会
亡き夫の声を通すや秋簾　斉藤　政憲
同南港東第四寿会
来し方の昭和も遥か走馬灯　京﨑　葉子
同馬場南第二老壮会
水澄めり朱色もまじる魚影かな　吉川　小静
同南松会
綿菅や峠に出逢ふ北キツネ　白井　和子
同加寿美会
秋暑し点滴の管まといつく　綿谷　弘子
同喜連東第五老人クラブ堀川
枝豆や広島の土つけしまま　髙田　敏雄
阿倍野区晴寿会
夜もすがら鉄粋揺らし野分き去る　村田　敏子
住之江区太陽連合きらく会
往診の自転車遺品女医露と　畑井　儀人
同新北島つくし会
亡き夫の声を通すや秋簾　斉藤　政憲
同南港東第四寿会
水澄めり朱色もまじる魚影かな　中野　節子
同南松会
しづかなる二百十日の無気味なり　川上南海子
住吉区清水丘喜楽会
いわし雲指差し講義始まりぬ　矢倉　眞子
平野区平野南なごみ会
秋暑し点滴の管まといつく　綿谷　弘子
同喜連東第五老人クラブ堀川
綿菅や峠に出逢ふ北キツネ　白井　和子
同加寿美会
来し方の昭和も遥か走馬灯　京﨑　葉子
同馬場南第二老壮会
花野ある限り押し行く車椅子　渡部美江子
西成区萩鶴会

短歌

大西　公哉選

ドリンクを飲みて出かける暑くてもスコア気にせぬグランドゴルフ　西岡富美江
北区菅寿会
船上から投網ひろげし子の若き写真に偲ぶ老い秋の潮　長岡喜与吉
都島区北寿会
離れ住む孫が作ったのと言ひ友はカレンダー店に貼りて勤しむ　長澤　愛子
同高倉連合
梳ることもしないで人と会う我老いたりと心底思う　粟津美代子
此花区西九条長寿会
「吾亦紅」の唄声聞けば胸あつく亡き母思う秋に近づく　上山　雅田
港区弁天寿クラブ
新サンマ一匹買いて立つくりや猛暑の夏も無事にすぎゆく　西村千恵子
同南岡寿成会
黒光る大国柱なでて偲ぶ築百三十年の歴史　竹本美代栄
天王寺区真生クラブ
この西瓜千円はするか屋上に実り鎮座すわれの力作　大石うめの
西淀川区佃老人クラブ
膝病めばしゃがむことさへままならず中腰に焚く夫の迎へ火　山﨑　洋子
淀川区三津屋三寿会
ぬか床を「忘れずまぜて」と亡き母の声が聞える朝の食卓　大地　恵子
同加島老人クラブ

書

常樂我淨　浜田　舜子　都島区高倉緑友クラブ
閑雲野鶴　河合修二郎　同西生野第4おもと会
栗通而忘貧　貝原　平人　同森之宮長寿会
花意竹情　斉藤　東雄　旭区親友会
友二人荒野に散りし終戦忌　葉山　晨子　城東区城東老楽会
乙巳ふ路多施人　高松はる子　住吉区苅田新生クラブ
憩石悟花泉　人見　政夫　鶴見区茨田東喜楽会
粉骨砕身　山口とみ子　平野区恵美寿会
夜水桜に明らかに月開に在り　毛谷村信男　西淀川区姫島老人クラブ
ほとゝぎす一声　竹内　兼介　港区市岡元町長生会
水遠山長　松永八重子　同日吉連合寿老会
生涯青春　伊藤ヒサ子　同生野南第3暁会
猛暑炎熱侍涼雨　岡田　操　淀川区塚本しあわせ会
長決施於無窮　石神　定男　東淀川区大隅東老人クラブ
星依雲清冷　木戸　秀子　同東井高野老人クラブ
水急不流月　吉原美紗子　同
螢火出深碧池荷開暗香　田中夏太郎　同下新庄福寿会
生涯青春　大北　お花　生野区林寺長寿会
十六夜の松の風　伊藤ヒサ子　同生野南第3暁会

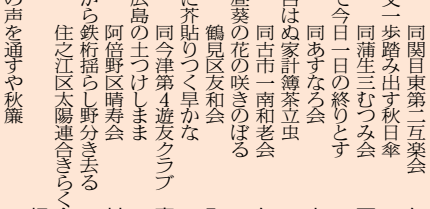
大阪市広報ラジオ番組
馬場章夫の〈新〉大阪大発見
毎日放送ラジオ（1179ＫＨｚ）
毎週日曜日　午前８時～８時30分
まち歩きの達人、馬場章夫さんが現場取材を交え大阪のまちをレポート！

10月３日	大阪に集まった12の名画
10月10日	リサイクルでごみを減らそう！
10月17日	旬のお宝めぐりはいかが？
10月24日	クラフトパークで手づくりの祭典
10月31日	商業系高校大集合！ええもん市！

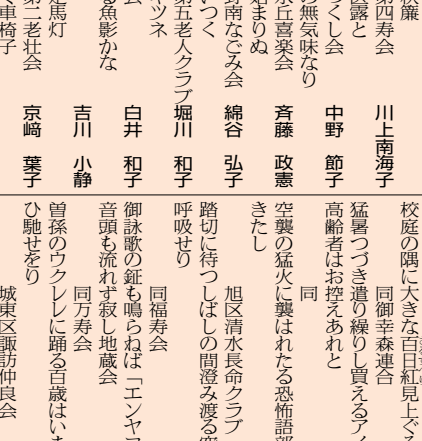
話せる。頼れる。生活バンク。　JAバンク大阪（JA/信連）　http://www.jabankosaka.or.jp/ja

大阪人の誇り　第伍回

四天王寺



四天王寺は、593年に聖徳太子によって建立された我が国仏法最初の官寺です。境内は、南北一直線に南大門・中門（仁王門）・五重の塔・金堂・講堂が並ぶ四天王寺式の伽藍配置で、日本で最も古い建築様式の一つです。この中心伽藍の北には、仏教の根本精神の実践の場として、仏法修行の道場である「敬田院」、病者に薬を施す「施薬院」、病者を収容し病気を癒す「療病院」、身寄りのない者や年老いた者を収容する「悲田院」の四つの施設が建てられていました。



受け継がれる伝統のスタイル

毎年、元旦から14日まで四天王寺で行われる修正会では、その年の天下泰平と五穀豊穣を祈願する法要が営まれます。その最終日にあたる結願の日には法要で祈祷された牛王宝印という魔除けの札がお堂の天井から撒かれ、ふんどし姿の若者たちが奪い合う風習があります。かつては、柳の枝にはさんだ牛王宝印が数百本投げられ、持ち帰って田畑に立てておくと悪い虫がつかず、豊作になると言われていました。堂前では、阿倍野方面の漁師と生野方面の百姓が紅白に分かれ、牛王宝印を奪い合ったことから、現在も白組は東から、紅組は西から登場します。牛王宝印を受けようと、どやどやと六時堂に群衆が集まることから、この風習は「どやどや」と呼ばれ、日本三大奇祭に数えられることもあります。

JAは大阪とともに歩む、信頼バンクです
年金のお受け取りはJAで

大阪府全域をカバーするJAのネットワーク

JA大阪市	TEL.06-6793-8701	JA大阪中河内	TEL.072-924-6647	JAいずみの	TEL.072-439-2386	JAたかつき	TEL.072-671-5421
JA北河内	TEL.072-844-1353	JAグリーン大阪	TEL.072-967-1139	JA大阪泉州	TEL.072-468-2633	JA北大阪	TEL.06-6877-5145
JA九個荘	TEL.072-828-4441	JA大阪南	TEL.0721-25-5523	JA大阪北部	TEL.072-725-0752		
JA大阪東部	TEL.072-878-1231	JA堺市	TEL.072-278-5011	JA茨木市	TEL.072-627-7763		

JAは農協の愛称です。